自校の良さや課題を明確にし、生徒会運営を円滑にする

ネイパル北見 Leader’s Café①～高校生編～

1　事業のねらい

ワークショップや他校との交流を通して、自校の良さや課題を明確にし、チームワークを向上させ、 生徒会運営を円滑に進める機会とする。

2　事業の概要

■期日 R6.6.8(土)～9(日)　1泊2日
■対象 高校生(生徒会執行部、各種委員会役員)、引率教員等
■人数 29 名
■場所 ネイパル北見
■講師 日本ペップトーク普及協会認定講師　池田　潤　氏

3　プログラム

日時	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
6 /8（土）								受付 13：30～	開会式	アイスブレイク	学祭紹介	ペップトーク	夜カフェ（夕食）	自由時間	焚火カフェ	入浴	就寝
6 /9（日）	起床 洗面	準備	朝カフェ（朝食）	点検	振り 返り	決起集会	閉会式										

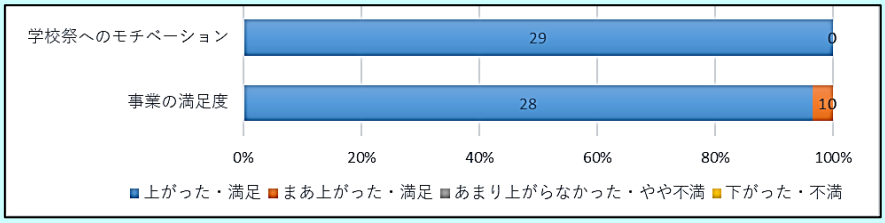
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■夏の風物詩を取り入れた後夜祭を意識した交流プログラム
・焚火を囲みながらのフォークダンス、歌、花火など、夏ならではの活動を取り入れ、参加者同士の交流を促す工夫をした。
■ペップトークを取り入れたリーダー育成プログラム
・「ペップトーク」の講師を招き、モチベーションを上げるスピーチ方法を学び､実際の声掛けを想定し各校で考えたペップトークの実践発表を行い、互いの発表を交流する場を設定した。

焚火を囲み非日常の時間を味わう

ペップトークの講師と記念撮影

5　事業の評価



■参加者アンケートから
学校祭へのモチベーションの向上と事業の満足度は 90%以上であることが分かった。
■参加者の感想
「すごく貴重な経験だったので、新生徒会に引き継いで参加を続けてほしいと思いました。」との感想が寄せられた。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●昨年の反省から、部屋割を他校の生徒と一緒にし、焚火カフェでは歌、フォークダンス、花火を参加者の進行に任せ、自主的な交流を促したため、全員で楽しみ交流する姿が見られた。
○昨年度からの実施であるが、各学校に周知がうまく届かず参加できない学校もあった。今後、管内の高校の生徒会顧問との連携を深める必要がある。

企画のポイント

「ペップトーク」の手法の習得と、自主企画の後夜祭を意識した交流を深めるプログラムの設定